

東急電鉄渋谷駅において、東急セキュリティ株式会社による、さまざまな異常とその予兆をカメラ映像の解析技術から発見・対応する警備オペレーションの実証実験を実施します。

東急電鉄渋谷駅において、東急セキュリティ株式会社（以下、東急セキュリティ）が、駅構内で発生するさまざまな異常やその予兆を防犯カメラ映像から発見する異常検知ソフトウェアを活用した警備オペレーションの実証実験を2022年7月より開始することをお知らせします。

今回の実証実験は、「通常と異なる“違和感”」として検知された駅構内カメラの映像を東急セキュリティ鉄道警備員が確認し、声掛けや遺留物の確認など早期オペレーションが実施できるかを検証するもので、駅構内でのお客さま同士のトラブルや急病人・異常行動の予兆などを画像解析技術で発見し、事件事故の早期対応を行うことで、東急線の更なる安全対策の強化と警備品質の向上を目指します。

＜実証実験の流れ＞

- ① 渋谷駅構内（改札付近・コンコース・ホーム）に設置されている防犯カメラ（12台）を選定し、異常検知ソフトウェアを接続することで映像を取得し、約2週間かけて解析し、現地の環境を AI により学習します。
- ② 異常検知ソフトウェアによって映像内の異常やその予兆を「通常と異なる“違和感”」としてリアルタイムで検出し、異常時には“違和感”が検知結果監視用 PC に検出され、東急セキュリティ鉄道警備員によるオペレーションを実施します。

※1.異常検知ソフトウェアは防犯カメラ映像のみを取得し、取得映像にはお客さま個人の特定につながる情報は含まれません。

※2.本実証実験によって取得・解析された画像データは東急電鉄、東急セキュリティ及び協力会社（画像解析ソフト提供）でのみ取り扱い、本実証実験および事後検証以外の目的には使用いたしません。

【本実証実験の概要】

期 間 ： 2022年7月1日(金)～2022年7月29日(金)予定

場 所 ： 東横線・田園都市線渋谷駅（東京都渋谷区）

対象カメラ台数 ： 12台

以 上